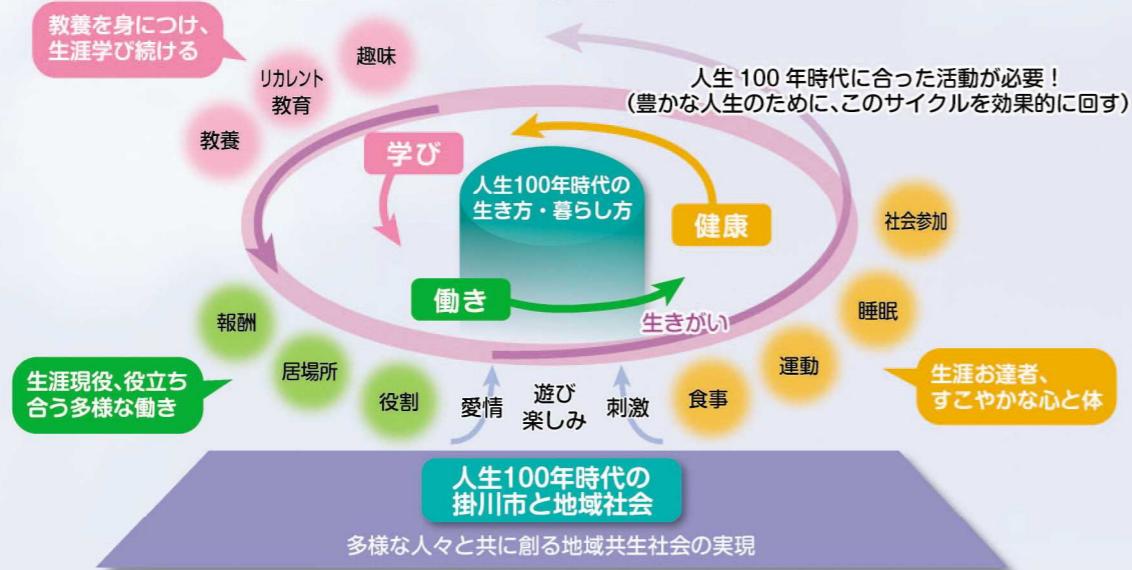
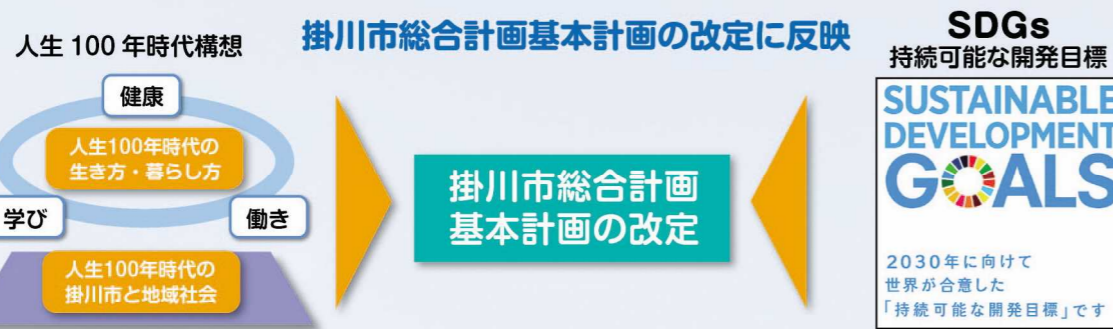


人生 100 年時代のイメージ



- 協働による、支え合い、役立ち合いの地域社会やまちづくり。
- その人らしい生き方・暮らし方が可能な地域社会やまちづくり。



掛川市

人生100年

時代構想

～誰もが主人公になれる社会を目指して～



人生 100 年時代構想のまとめにあたり 助言をいただいた先生方(敬称略・五十音順)

- 掛川市政策アドバイザー
 - ・久保田 崇 (元立命館大学公共政策大学院教授、現掛川市副市長)
 - ・熊倉 功夫 (MIHO MUSEUM 館長、掛川市文化政策審議会委員長)
 - ・玄田 有史 (東京大学社会科学研究所教授)
 - ・杉浦 靖彦 (掛川市生涯学習振興公社理事長)
 - ・富野暉一郎 (福知山公立大学副理事長兼副学長)
 - ・日誌 一幸 (静岡大学人文社会科学部部長)
 - ・鷺山 恭彦 (東京学芸大学名誉教授)
 - ・渡邊 明 (三重大学名誉教授)
- 学識経験者等
 - ・石川 紀子 (日本電気株式会社)
 - ・内山 節 (哲学者、NPO 法人森づくりフォーラム代表理事)
 - ・西條 美紀 (東京工業大学環境・社会理工学院教授)
 - ・島蘭 進 (上智大学グリーンケア研究所所長)
 - ・島田 由香 (ユニリーバJH取締役人事総務本部長)
 - ・林 寛子 (中日新聞社取締役、掛川市文化政策審議会委員)

掛川市 企画政策部 市長政策室

〒436-8650 掛川市長谷一丁目1番地の1
TEL:0537-21-1224 FAX:0537-21-1167

発行:令和元年 8月

長くなった人生にあわせて、人の生き方、社会システム、自治体施策などの見直しが求められています。

掛川市では、人生 100 年時代を見据えて、市民の皆さんのより良い生き方・暮らし方について、有識者や政策アドバイザーの方々から、ご意見をお伺いしました。それらをもとに、人生 100 年時代における、3つの要素である「健康」「学び」「働き」に着目し、その目標や人生の各ステージでの取り組みをまとめました。これらを市民の皆さんが参考とされ、豊かな人生の構築につなげてもらえれば幸いです。

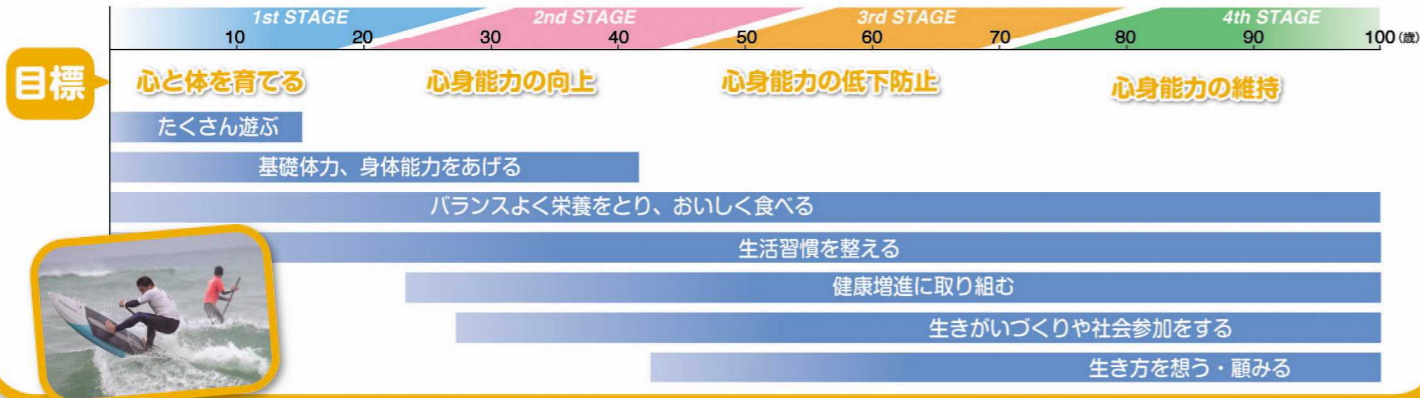
また、あわせて掛川市と地域社会のあり方についても、これからの時代に求められる9つの視点をまとめました。これらは、人生 100 年時代に向かう中で、様々な主体がまちづくりを展開していく上での着想点となるものです。

目指す姿 生涯自立し、学び続け、豊かに生きていく

より良い生き方、暮らし方のための3つの要素「健康」「学び」「働き」

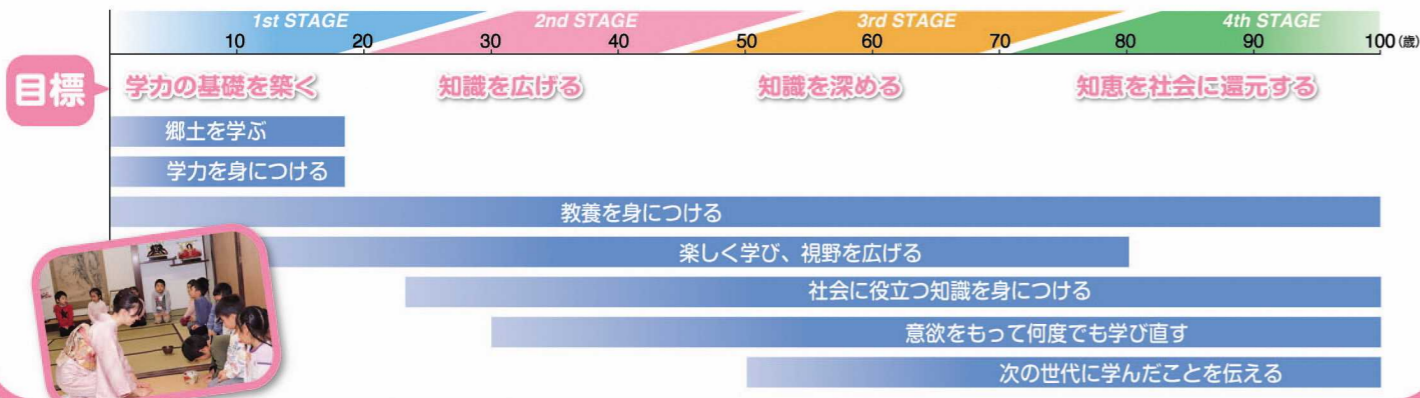
健康 ～生涯お達者・すこやかな心と体～

人が活動していく上で、「健康」な心や体はその基盤となるものです。人生100年時代は、若い頃から心身の向上を図り、健康を意識した生活を心掛け、健康寿命を延ばしていくことが大切です。高齢期には、社会参加や生きがいを持つことが健康の秘訣となりますが、年齢を重ねるにつれて、体力が衰え、病気になることは仕方の無いことです。自らの尊厳を保ちながら、それらを受け入れ、心や体とうまくつきあっていくことも大切です。



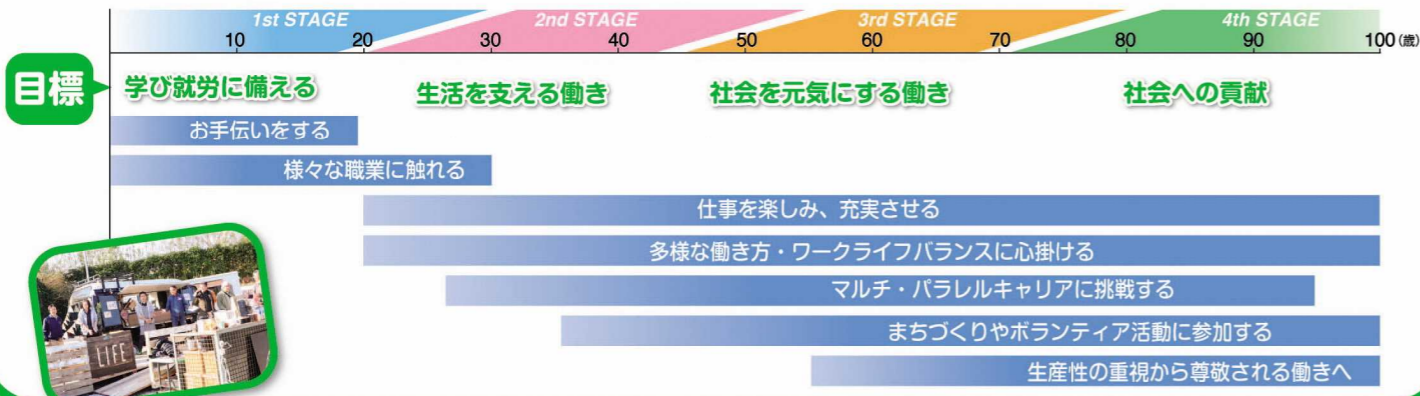
学び ～教養を身につけ、生涯学び続ける～

インターネットにより、誰でも瞬時に情報を得たり、発信ができるようになり、社会には大量の情報があふれています。人生100年時代は、情報を取捨選択し、有用な情報を社会やそれぞれの暮らしに役立てていくことが求められます。長くなった人生にあわせて、生涯にわたって教養を身につけ、人生を豊かにするとともに、意欲を持って自己研鑽に励み、学び直しをしていくことも重要となります。



働き ～生涯現役、役立ち合う多様な働き～

働くことは、その対価によって経済的に自立する目的がありますが、一方で社会とのつながりを保ち、生きがいともなる大きな存在です。そのような意味で、人生100年時代においては、生涯現役を志し、その時々年齢に応じた多様な働き方が求められます。将来の自らの方向性を考えながら、自らの役割やキャリアをどうしていくかについて、絶えず自問自答していくことが大切となります。



市の将来像 希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川

これからの時代に求められる9つの視点

1 地域の特性を大切に育み、魅力に変える

- ・地域の魅力を磨く市民総ぐるみの観光・シティプロモーション
- ・かけがわ茶エンナーレから始まる掛川文化の創造
- ・松ヶ岡修復開始と現代版教養館構想の推進 など



2 新しい公共モデルとなる協働のまちづくり

- ・市民、企業、地区まちづくり協議会など多様な主体によるまちづくり
- ・地域、市民の手による公共サービスの提供
- ・地域を守る共助、公助の取り組み など



3 未来を担う子どもたちに向けての取り組み

- ・こころざしと学ぶ意欲を育てる人づくり
- ・市民総ぐるみによる学びの環境づくり
- ・歴史、文化、伝統をつなぐ未来志向の人づくり など



4 地域循環共生圏やSDGsの視点を入れた取り組み

- ・エネルギーの地産地消による地域新電力事業システムの確立
- ・持続可能な社会を目指す脱炭素社会の構築
- ・プラスチックに関する環境問題への対応 など



5 多極ネットワーク型コンパクトシティ

- ・快適な都市環境づくりの推進
- ・地域の足となる公共交通の整備・利用促進
- ・駅前西街区の利活用などによる中心市街地活性化 など



6 産業のイノベーションが継続的に起こるまち

- ・地域資源を活用した新たな産業の創出
- ・攻めの農業の取り組み、オリーブの産地化
- ・中東遠タスクフォースセンターの利活用の促進 など



7 多様性を認め合う地域社会の構築

- ・多様な生き方、能力の発揮を可能にする社会づくり
- ・多様な文化の理解促進や外国語教育のさらなる推進
- ・外国人市民への生活・教育・労働環境の整備 など



8 地域包括ケアシステムの拡充、孤独社会への対策

- ・ふくしあ機能強化による地域包括ケアシステムの充実
- ・介護予防推進の地域リーダーの育成と認知症予防対策
- ・社会資源や地域の支え合い体制の活用 など



9 広域連携やスマート自治体への取り組み

- ・中東遠地域など既存の結びつきを活かした広域行政の推進
- ・戦略的な人材育成やICT活用による人材の高度化
- ・公共施設マネジメントや社会インフラの長寿命化の取り組み など

